



最高責任者 新年の挨拶



2025年度がスタートした。地球環境全体が、不透明で厳しい状況に向かっている。地球環境破壊の最大の要因は原子力ではないか。核兵器はもちろん、原子力発電もその一つ。核分裂のウラン廃棄物などは、未だに処理方法すら確立されていない。ノーベル平和賞を受賞した被団協のスピーチも、そうした問題点を授賞式で訴えていた。近未来社会が、科学の発展により輝かしい姿になるか、絶望に代わるか、決断の時を迎えている。アメリカ大統領がトランプ氏に変わり、自国優先主義を掲げ、グローバルなリーダー不在の時代に突入したとも言われている。地球温暖化の影響と見られる異常気象が、毎年のように各地を襲っている。原因は人間社会が生み出し、排出された物に他ならない。今できることは、小さなことを地道に続けていくことぐらいだが、今年も環境問題を注視して行きたい。

一斉防災2025 --- 防災訓練を考える

毎年行っている緊急事態対応訓練、今年も水戸市の一斉防災と呼応して実施する案で検討しています。予定日は2月18日(火)で時間等は調整中。訓練内容も、今までの、身の安全を守る行動の他に、別な訓練を付加することを求められています。消火器使用訓練等計画中ですが、今回の環境会議で正式決定します。防災の日、自分自身で防災を考え行動する日です。いざと言う時、パニックにならないように日常的な訓練が不可欠です。宮崎でも、震度5弱の地震がありました。どこで起きてもおかしくないことを思い出しましょう。



持ち手がついた紙袋の廃棄について

お正月明け菓子箱とともに右のような紙袋がたくさん廃棄されました。全体に紙で出来ているので雑紙の中に分類されているようですが、分類は雑紙で問題ありません。ただし持ち手の部分が紙以外で出来ているものについては取り外してから廃棄するようにお願いします。取れないときは、ハサミで切り離してください。時々、菓子箱や袋がダンボールでできていることがあります。一見して分からない時もあり、注意して分別してください。



環境コラム「笠原水源」新水戸八景プラスワン

水戸市の笠原町にある笠原水道、水戸市に住んでいる方は、子どもの頃、遠足などで訪れた経験があると思います。笠原水道は、江戸時代、水戸藩が千波湖を埋め立て、今の下市を形成するために造ったものです。下市も井戸を掘ると水が出たようですが、鉄分を多く含む水で、赤く濁っていたため、飲水には適さなかったようです。様々な水源を調査して、現在の笠原水源を利用して造ることになり、1662年工事が着工開始。逆川を木樋で渡し、岩樋をつなぎ、備前堀は銅樋で横切らせ、現在の細谷まで、全長10km、巨費を投じて完成させました。この水道工事を命じたのは、徳川光圀公(水戸の黄門様で有名)、命じられた町奉行や多くの人達の調査研究施工まで、名もなき先人たちの努力があったようです。常磐線で赤塚駅から水戸駅に向かう途中、大きな罅穴が見えます。時々知らない人が、「あれは防空壕だ。」「いや、何かの保存庫だ。」と話している声を聞いたことがあります。違いますよ。あの穴は、笠原水道の岩樋の材料になった岩(神崎岩と呼ばれていました)の採掘跡です。岩を乗せて、対岸の工事現場まで、船で運んだようです。今は、線路になっていますが、その当時は、すべて千波湖だったことがわかります。完成された笠原水道は、非常に使い勝手が良かったようで、当時、10軒程度で一つの井戸を使用していた時代、2~3軒の家で使えたようです。現在の笠原水道は、取水口付近が元の姿に戻され、使用していた岩樋が展示されるなど、周辺の逆川緑地とともに公園として、市民にいまでも愛されています。この貴重な文化遺産が保全され後世に引き継がれることを願っています。



2024年度環境目標進捗状況表

目標は今月も達成できました
電気使用量、多くなってきました
節電実行 期待しています！



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体的評価
電気使用量 合計(kwh)	37,465	35,543	(達)	236,919	222,564	106%	(達)
エコキャップ(個数)	1,300	1,300	(達)	12,100	12,100	100%	(達)
美化活動(回数)	—	—	—	2	2	100%	(達)
環境教育(回数)	1	1	(達)	4	4	100%	(達)
防災計画(進捗度%)	10	10	(達)	60	60	100%	(達)